

品川生まれの2つのかるた

正月の風物詩である「かるた」。いろいろなかるたが出回っているなかで、品川生まれのかるたが、2つあるのをご存じでしょうか？品川の魅力が詰まった2つのかるた「しながわふる里かるた」と「しながわ歌留多」をご紹介します。

【しながわふる里かるた】

旧東海道品川宿周辺に、6校の小学校（品川、城南、浅間台、御殿山、城南第二、台場）と2校（東海、城南）の中学校があります。8校で「子供をよくする会」を結成し、学校間の状況等を話し合い共有した目的に向かった活動をしていました。

私たちの街には名所・旧跡・伝統文化が宝の山のように豊富です。この宝を題材に五・七・五のかるたを生徒たちの手で作り、ふる里の良さを知った「品川っ子」として誇りをもった人に育つよう、8校の生徒たちから早速募集を始め全員参加のかるた作りが始まりました。昭和59年度から1年半をかけ、生徒の英知を集め、やっとできあがったものです。「品川ふる里かるた」を楽しんでいただくと共に史跡を訪ねて頂ければ幸いです。

平成19年には、六行会が復刻版を作成いたしました。この「品川ふる里かるた」を使って開始された品川地区小学校6校によるかるた大会は今や六行会の課外活動支援の学校行事として定着し、毎年児童たちによる熱い大会の場となっております。六行会として毎年記念のトロフィーと楯を贈呈しています。

一般財団法人 六行会 事務局 後藤 元良

【しながわ歌留多】

品川の歴史や文化に愛着を持って親しむことができるように、名所旧跡を取り上げて作成をした「しながわ歌留多」。しながわ歌留多普及委員会が企画をして歌留多が作成されました。しながわ観光協会からは、しながわみやげにも認定されました。スクエア荏原では、子どもにもわかりやすく品川の魅力を発信するため、この「しながわ歌留多」を使って昨年歌留多大会を開催し、熱戦が繰り広げられました。来年の1月17日にも、和 cultura フェスタの中で歌留多のイベントを行う予定です。

(事務局)

コロナ禍での日野学園の取組み

マスクの着用と手洗いの励行、三密の回避に気を配りながらの生活が依然として続いています。児童・生徒は、朝登校すると、まず玄関フロアで非接触型体温測定器を使って検温します。そして教室に入る前に石鹸で手を洗い、健康チェックカードを教員に渡し、今日も元気であることを確認してから、一日の活動がスタートします。

授業はマスクをした状態で受けるのが基本です。ただし体育の授業や運動部で活動するときは、熱中症や息苦しさのリスクを考慮し、マスクを外してもよいとしています。話し合いや教え合いを活発に行う授業はまだ控えています。ソーシャルディスタンスを保てる広い場所を活用して、意見交換や発表を行っている教科もあります。理科の実験、図工・美術、技術・家庭の制作の授業、音楽での歌唱の授業など、1学期にはなかなかできなかった内容も、工夫しながら行っています。

給食の時間は、動画を見ながら正面を向いて食事をします。友達と会話をしながら楽しく食事をしたいところですが、ここはグッと我慢です。

2学期は、1学期にできなかった行事や授業参観、講師をお招きしての授業も始めています。例年と同じ形では行えないので、例えば運動会は「日野学スポーツデー」、文化祭は「日野学プレゼンデー」に代え、内容の大幅な変更、時間の短縮、参観できる人数の制限、オンライン配信など、様々な工夫をしながら行いました。これから予定している行事も、できる形を探りながら実施していきます。残念ながら、ご来賓や地域の皆様の行事の参観については、まだご遠慮いただいています。



こうしたコロナ禍での教育活動の中で、高まったことがあります。それは、「協働意識」と「創造力」です。児童生徒・教員・PTAが、限られた条件の中でできることを探り、アイデアを出し合い、新しい形を創っていく過程で高まってきた力だと感じています。今年度中に一人一台のタブレット端末も導入されることになりました。コロナ禍の今を、新たな実践につながる時期であると捉え、今後も様々な取組を進めていきます。

日野学園副校長 実松 美智代

大崎第一地区SNSアカウントを開設しました

10月1日(木)より、大崎第一地区SNSアカウントを開設しました。大崎第一地区管内で行う区民まつりや青少年対策地区委員会などの事業をはじめ様々な情報を掲載しています。「大崎第一地区の今と昔」のように面白い記事が掲載されていますので、ぜひご覧ください。



Twitter QRコード

(事務局)

編集後記

本年は春から新型コロナウイルスの感染拡大によりニュース等の取材や編集が困難な状況になってきていますが、「はなぐるま」は、おかげさまで第150号を迎えることができました。長い間ご愛読いただきました皆様には心から感謝申し上げます。

来年こそはこのウイルスに対するワクチンの開発や治療法が進み、わが国でも感染の勢いが弱まっていくと期待しています。そしてまたたび普段の日常が戻ってくるよう心から願っています。どんなに暗い夜にも必ず朝は来ます！

(編集長 久保田)

地域の方が協力し意見を出し合って「はなぐるま」を作成しております。ご意見・ご感想や投稿などお気軽にお寄せください。

編集委員も随時募集中です！一緒に紙面作りをしましょう。

大崎第一地域センター 電話3491-2000までご連絡ください。

川柳・俳句

本気です 痩せます5キロ 来年は

大井三丁目 金輪 健

誘われて 遠慮していた 頃もある

荏原三丁目 関 みさ子

気まぐれに お土産買って 疑われ

旗の台六丁目 松本 悦子

満天に 神が撒いたか 銀の砂

旗の台四丁目 泉 喜久男

秋の野を 風が吹き抜け 草燃ゆる

西五反田三丁目 斎藤 みゆき

明けぬ夜は 意いと信じて 今我慢

西五反田六丁目 久保田 公二